



2021 6月号

発行所 日本聖公会 横浜教区教務所 川区三ツ沢下町14-57 TEL 045-321-4988 FAX 045-321-4978 発行人 入江 修 1部 55円 刊別

聖霊降臨後第三主日(特定六)

マルコによる福音書第四章二六―三四節

「み恵に感謝と賛美」

司祭 ペテロ 松田 浩

使徒パウロは、コリントの信徒たちへむけた手紙の中で「ひたすら主に喜ばれるものでありたい」(二コリ五・九)と、自身の思いを打ち明けています。私たち一人ひとりも常にこの言葉を胸に日々信仰生活を送っています。

聖霊降臨日のできごとによつてご復活の主は私たちに聖霊をお与えくださいました。聖霊なる神さまのお働きに、日々力を与えられ、喜びを持って歩むことがゆるされていく私たちにとって、主のみに身を委ね、従い歩むということはどのようなことなのでしょう。

すぎた良い賜物を備えてくださる神よ、どうか私たちに何ものよりもあなたを愛する心を得させ、わたしたちの望みうるすべてに勝るものをおあたえください。(特定六特禱)と、私たちに對して一方的に恵みを注いでくださる主の愛のうちに従い歩み、三位一体の神さまを信じる信仰を告白し続けることを祈りのうちに覚えたいと思えます。そして、私たちの心に広がっている神さまのみの状態はどのような状況であるか時に立ち止まり確認することも私たちの信仰を確認するうえでも必要なことであると思えます。

私たちはただけ気が付いているでしょうか。毎主日礼拝で聴き、ご自宅で読み進められ祈りのうちにもおぼえる聖書のみ言葉、そのどれもが時かされた時には、自分自身に時かされたときえ思えないほどの大きさでも、成長し大きな実りをつけることイエスさまはお教えくださっています。

聖パウロは、自身の宣教の働きに對して疑いを持つものが現れたコリントの教会に對して手紙の中で「心強い」と書き記しています。苦しみの中であつた聖パウロにとつて、神さまの聖霊をお与えくださったことにより、心強く感じていたから出てきた言葉であるように感じます。 私たち人間がこの世でこの身体を住まいとして歩ませていただいている今日も、「天から与えられる住みかの上に着る」ことを保証してください、聖霊なる神さまの力が私たちを包み支えてくださっています。

教会暦はまもなく主のご復活から四〇日目の昇天日、そして五〇日目の聖霊降臨日を迎えようとしています。この教区報が皆さんのお手許に届く頃には聖霊降臨後の緑の期節に入っていることでしょう。その頃には、再び一堂に会して礼拝がさざげられるようになっていくことを願います。 さて、四月二五日の復活節第四主日は神学校のために祈る主日となつていました。現在、横浜教区からは、ステパノ・高野洋・セバスチャン・染谷孝章両聖職候補生が京都と東京のそれぞれ神学校で二年次の学びを続けています。皆さまの祈りとお支えをよろしくお願ひいたします。



十主教 イグナシオ

「勉強」とは、強いて勉めると書きますから、与えられた課題に追われながら取り組むという一面があります。そして牧会の現場に出れば、今度は主日ごとに説教や勧話をしなければなりませんので、自ずとその準備に追われます。それは、ある一定の時間を掛ければ必ずできる、というものはありませんので、私などは今でも悪戦苦闘することがしばしばです。

その準備の中で、まだまだ自分には知らないことがたくさんあることに気が付かれます。そして、それを調べていくことで、更に知らなかったことがあつていくのです。

その一つ一つを調べていくのはとても興味深いものです。それは、自分が知らないというところを知ることから始まり、学べば学ぼうと自分が知らないことに気が付かされ、それを調べていくことによつて新たな気づきがお与えられます。学びの真実とその喜びは、そこにあつたのだと思えます。

課題をこなしていくのに精いっぱいであるというような話も聞いていますが、それは二人に限らず、どの教役者もかつて同じだったのではないのでしょうか。